

# 中国（上海）ビジネスサポート

## Monthly China News

\*毎月1回、定期的に中国より配信致します。

待ちに待った中国労働節大型連休。天候にも恵まれた5連休は、観光地は勿論、レストランから商業施設どこも人で溢れていた。新しいスポットは特に人気だが、穴場もある。「上海大世界」は古くから（1917年建築）の娯楽ホール。音楽会、話劇、京劇、越劇、紙芝居、影絵やスナック等の出店、洒落た西洋料理レストラン等が一堂に会



し、行けば何か楽しい事がある上海っ子の遊び場だった。建物も12の柱、3棟連結4階建ての独特の建築。コロナで数年封鎖されていたが労働節前に開放、何と無料で楽しめる。ぶらりと入ってみると小部屋で京劇が上演されていた。座席もフリー、立ち見もOK。子どもが近くでじっと見ている。やっと、戻ったか。こんな風景はなかなか、いいものだ。中国の文化、実は日常で身近だと実感。では、今月のレポートをお届けします。

### 【政治・経済】

- ・習近平総書記第20期中央財經委員会第1回会議を開催；5日、習近平総書記は中央財經委員会第1回会議を主宰。副主任に李強国務院総理が、委員に蔡奇中央書記処書記及び丁薛祥国務院副総理の両氏が就任。特に現代化産業と、人口発展の具体政策について方針が決定、実体経済に重点が置かれる方針が明らかにされた。（\*抜粋）(1)現代化産業体系の構築加速：①人工知能等の新科学技術革命の波を捉え、産業体系の完備と付帯能力の優位性を維持・強化し、世界のイノベーション要素を高効率で集め、産業のスマート化・グリーン化・融合化を推進。先進的で安全な現代化産業体系を構築する。実体経済に重点を置き、「虚」（金融経済）に向かうことを防止する。②産業安全の維持を最重点とする。科学技術イノベーションの主体としての企業の地位を制度的に確立する。（2）人口政策・質の高い発展：少子化、高齢化、地域による人口増減の不均衡という特徴が存在。共同富裕を促進の為、各地で政策を推し進める①教育・衛生事業の改革イノベーションを深化させる。国民の資質（科学文化、健康、思想道德）を向上させる。②子育て支援政策体系を構築・改善し、保育サービス体系の発展、家庭での出産・子育て・教育負担の大幅な軽減、子育てにやさしい社会の構築推進。③人口高齢化に積極的に対応するための国家戦略を実施する。シルバー経済を大いに発展させ、多層・多柱の養老保険体系の発展を加速させる。（5/6 人民網・新華網）
- ・国内人口の82%以上が新型コロナに感染調査結果発表；中国CDC（疾病予防コントロールセンター）はオンライン調査結果から、2022年12月～2023年2月迄の期間で、国内人口の82%以上が新型コロナに感染したとの推計値を発表した（4/28）。ピークは2022年12月19～21日で感染率は15.5%だった。（4/28 中国CDC）これを受けて、国家衛生健康委員会新型コロナ対応処理業務専門家チーム長は、WHOによる緊急事態宣言の終了は新型コロナ感染症の終了を意味するものではなく、引き続き「乙類乙管」を維持し、①変異株と感染発生状況の監視、②ハイリスク層及び重点層へのワクチン接種の強化、③救急能力の強化、④公衆衛生体系と医療関係者への訓練、関係物資の備蓄の強化、⑤保健教育とリスクコミュニケーションの強化を行っていくとした。（5/8 国務院・人民網）
- ・国務院常務会議開催；李強国務院総理による国務院常務会議での製造業に関する発展方向、特に新エ

ネ車の都市部から農村部への発展方向が示された（\*抜粋）（1）「先進製造業クラスターの発展加速に関する意見」の採択：①先進製造業クラスターの発展を最優先とし、専門化、差別化、特殊化に注力。②在来産業の改造・高度化と新興産業の育成・発展を統一的に計画・推進し、ハイエンド化、スマート化、グリーン化への転換を推進。（2）農村部における充電インフラ建設の加速と新エネ車の普及支援：①新エネ車の農村普及の突出したボトルネック解消のため、充電インフラを前倒して建設し、建設・運用・メンテナンスモデルを刷新する。②企業が地方や農村での販売・サービス網を拡充するよう誘導し、高等職業学校が農村向けのメンテナンス技術者育成を奨励。③新エネ車の購入・使用支援策を更に最適化し、企業が新エネ車の供給を充実させるよう奨励。（5/19 新華網）

- ・4月の物価統計；4月のCPI（消費者物価指数）は前年同月比▼0.1%（3月から▼0.6pt）、食品は▲0.4%（同▼2.0pt）。非食品は▲0.1%（同▼0.2pt）。PPI（工業生産者物価指数）は前年同月比▼3.6%（3月から▼1.1pt）。（5/11 国家統計局）また国家発展改革委員会は本件での記者会見を開き、最近の消費者物価指数の上昇率の低下について、主に輸入、周期性、季節性等の複数要因と、前年同期の高水準の影響で一部の商品価格が下落したもので、この状況は段階的かつ一時的なものであるとした。今後、内需拡大政策の継続的な効果により消費需要がさらに回復し、物価は徐々に近年の平均水準に戻ると予想していると述べた。（5/17 新華社）
- ・中国平均賃金伸び悩み；国家統計局は2022年の平均賃金を公表。22年の全国都市部非私営企業の平均賃金は前年比▲6.7%（同▼3.0pt）の114,029元、都市部私営企業の平均賃金は前年比▲3.7%（同▼5.2pt）の65,237元と前年から伸びが鈍化した。（5/9 国家統計局）
- ・若年都市部失業率最悪数値を記録；雇用（4月）は、都市部調査失業率が5.2%（3月から▼0.1pt）と低下した一方で、若年（16～24歳）都市部調査失業率は20.4%（同▲0.8pt）。2018年の調査開始以来、最高値を記録した。ゼロコロナ政策解除後、都市部企業・商業等の事業復活復旧の難しさが反映していると見られる。（5/16 国家統計局）

### 【製造業関連・関連の政策等】

- ・4月の製造業PMI 2か月ぶりに50%を下回る；4月の製造業PMIが49.2%（前月から▼2.7pt）だった。目安となる節目の50%を2か月ぶりに下回った。製造業の回復はまだ見通しが立たない。（5/4 財新网）
- ・医療美容産業に対する監督管理強化；国家市場監督管理総局、公安部、商務部、国家衛生健康委員会、海関総署、国家税務総局、国家インターネット情報弁公室、国家中医薬管理局等11部門は共同で「医療美容産業に対する監督管理業務の更なる強化に関する指導意見」を発表。違法な医療行為、偽造品、虚偽宣伝、価格詐欺等の問題が顕在化する中、同11部門が特別対策行動を展開してきたが、依然として業界全体は混乱。急速な医療美容産業の発展に伴い、整備を強化、良好な市場環境を作り出し健全な発展方向に導く。（5/5 国家市場監督管理総局）
- ・2023年第1四半期全国電力需給状況分析・予測報告；中国電力企業連合会は「2023年第1四半期全国電力需給状況分析・予測報告」を発表した。3月末時点の非化石エネルギーの発電設備容量が13.3億kW（前年同期比▲15.9%）で、設備容量全体に占める割合が初めて50%を超え、50.5%となった。非化石エネルギーのうち、太陽光発電が4.3億kW、風力発電が3.76億kW、水力発電等その他非化石エネルギーが5.24億kWで、風力、太陽光、水力での発電はいずれも発電設備容量で世界1位。（5/5 財聯社、5/8 人民日報）
- ・4月の自動車販売台数前月比マイナス；中国自動車工業協会は、4月の自動車販売台数は前年同期比▲82.7%の215.9万台で、うち乗用車販売台数は同▲87.7%の181.1万台、商用車販売台数は同▲60.5%の34.8万台。前年比はゼロコロナ期間だったので当然増であるが、前月比では自動車▼11.9%、乗用車▼10.2%、商用車▼19.9%とマイナスに転じた。4月の新エネ車販売台数は前年同期比▲110%（3月から▼2.5pt）の63.6万台だった。（5/11 工業情報化部）

- ・ガソリン価格引き下げ；国家發展改革委員会は 17 日より石油製品価格を引き下げると発表。ガソリン価格は 380 元/トン、軽油価格は 365 元/トンに引き下げ。今年に入って最大の値下げ幅となる。(5/17 経済日報)
- ・リチウム電池価格下落傾向強まる；深センで開催された第 4 回新エネ車・パワーバッテリー国際交流会 (5/16) で、バッテリーメーカーの楊紅新・蜂巢能源科技会長は、市場の急速な成長によりリチウム電池価格はこの 10 年で 80%下落。電動車がガソリン車並みの価格に下がる時期は 25、26 年頃とみられていたが、想定より早く 23 年にガソリン車と電動車の価格がほぼ同じ価格になったと指摘した。(5/17 澎湃新聞・騰訊新聞)

## 【トピックス】

### 1：第 133 回広州交易会 オフライン会場での輸出成約額 216.9 億ドル

広州で開催された第 133 回広州交易会 (4 月 15 日から 3 期に分かれて実施) のオフライン展示会が終了した。総展示面積は通年の 118 万㎡から 150 万㎡に、ブース数は 6 万から 7 万超、オフライン出展企業数は 2 万 5,000 社から約 3 万 5,000 社に増加、新規出展企業は 9,000 社超、展示会場への累計入場者数は 290 万人超。いずれも過去の記録を更新。229 の国・地域から海外バイヤーがオン・オフラインで参加し、うちオフライン会場には 213 の国・地域から 129,006 人のバイヤーが来場。会場での輸出成約額は 216.9 億ドル、オンラインでの輸出成約額 (\*4/15~5/4) は 34.2 億ドル。(5/6 経済日報、CCTV)

### 2：四半期の中国旅行業 大きく回復

今年第 1 四半期、中国の旅行業は大きく回復した。旅行サービス貿易総額は前年同期比▲56.6%の 3,376 億 3,000 万元で、輸出(外国人旅行者が訪中して旅行サービスを受けること)は同▲38.4%、輸入(国民が海外旅行でサービスを受けること)は同▲58%。5 月大型連休の労働節も文化・観光部(省) データセンター (中国観光研究院) の試算では、中国全土の国内旅行者数は前年同期比 70.83%増の延べ 2 億 7400 万人に達し、比較可能なデータに基づく 2019 年同期の 119.09%まで回復。そして 6 月の端午節も回復傾向が見込まれている。また週末を利用した日帰りも依然として人気が高く、順調にいけば第 2 四半期も大幅回復が見込まれる。(5/9 商務部 新華社)

### 3：中国航空宇宙プロジェクト活発化

近年、動きが活発な中国の宇宙航空プロジェクト。5 月はほぼ毎週関連ニュースが話題となった。5 月 5 日、無人補給船「天舟 5 号」が 15 時 26 分に中国の宇宙ステーションのコアモジュールから切り離され、独立飛行の段階に移行した。7 日には中国の宇宙貨物船「天舟 6 号」を積んだ運搬ロケット「長征 7 号遥 7」が海南省の文昌宇宙発射場で発射エリアへの移動を終え、打ち上げ日待機状態となっている。また 8 日には 2022 年 8 月に酒泉衛星発射センターから打ち上げられた再使用型試験宇宙機が、276 日間の軌道上飛行を経て予定の着陸地点に無事帰還。この試験の成功は、中国の再使用型宇宙往還機の技術研究における重要な知見となると期待されている。

そして、5 月 30 日には有人宇宙船「神舟 16 号」が午前 9 時 31 分に打ち上げられた。宇宙ではないが、初の中国生産航空機も 28 日 (東方航空 C919 機体 上海—北京フライト) に初フライトを果たし、29 日以降は上海—成都間の通常便として使用される。今後の動きに益々目が離せない。(5/29 人民網)

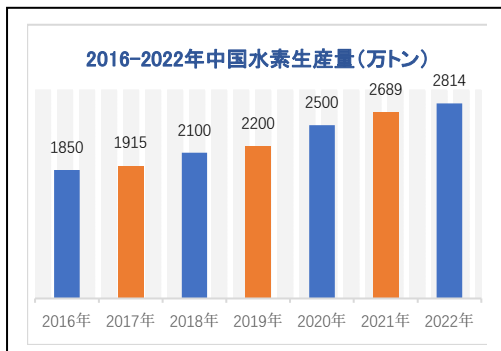
### 4：中国老人ホーム入居率 1%未満

中国老人介護関連の調査結果、「中国在宅介護産業発展白書(2021-22)」(以下、「白書」)が北京で発表された。中国で老人介護についての調査結果報告・公開は今回が初めて。

統計によると、2021 年末の時点で、中国において老人ホームに入居している高齢者は、高齢者人口の 1%にも満たなかった。高齢者の主な介護者は、95.6%が「家族」、2.8%が「家政婦や、パートタイムのお手伝いといった家事代行サービス」で、その 2 つを合わせた割合は 98.4%。中国では大部分の高齢者が、いわゆる「在宅介護」を選択しているという結果が浮き彫りになった。深刻な高齢化に、家族以外の在宅介護サービスの基本的なニーズを満たすことができていないことが大きな理由の一つ。そして中国では年配者を尊重する伝統的な考えが根強い。一方で、希望しても介護施設の数そのものが少なくそのサービス産業基盤はまだ確立されていない。在宅介護のニーズが高ければ、デイサービスや食事・清掃サポート、リハビリ・ケアのようなニーズを満たす産業構築への早急な政府の舵取りが必要。(5/24 人民網・中国新聞社)

## 【中国・水素製造事情】

毎日ニュースになる水素・新エネルギー。中国の水素の生産量は現在世界一。2018 年に 2,000 万トンを超え、2022 年は 2,814 万トンに達し前年比 4.65%の伸びを見込む。この調子で伸びていくと、ピークアウトを迎えると言われている 2030 年での生産量は 3,715 万トン、そして、2060 年には生産量は 1 億 3,000 万トンとなり、エネルギー量の 20%を水素が賄う社会が実現することになる。



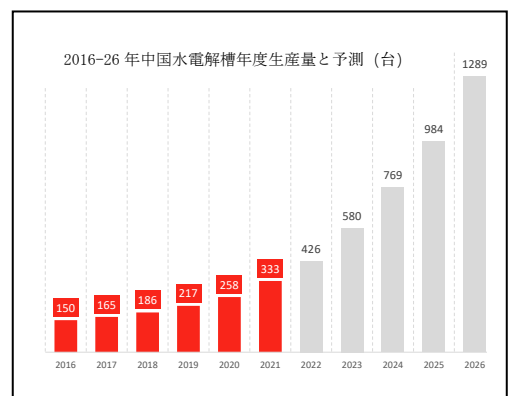
\*数据来源：中国氢能联盟

ウム筆者出席)

水素サプライチェーンは、中国も同じで、つくる・(ためる)・はこぶ・つなぐ・つかうに分類される。天然資源に乏しい日本の場合、海外で安く、大量に生産した水素を貯蔵しやすい形に変えて効率的に運ぶ供給網が重要に。またその技術についても日本は先を走っているとも言える。中国では、この広大な土地での天然資源を生かし、「つくる」が非常に強くなってきている。特に西部地域から内陸で大量に造られたエネルギーを、中国国内で使うだけでなく、世界に輸出する日が来るかもしれない、という専門家の話に驚愕したが、いずれそんな日が来るかもしれない。(※5/10 上海臨港区水素シンポジウム)

中国の水素製造市場規模の割合は 2025 年には全体で 5,000 万トン生産規模、うち再生エネルギーの占める割合は 7%となる見通し。現在は 1%程度しかない。グリーン水素を製造する技術はまだまで、中国では目下課題となっている。

再生エネルギー製造に格闘する中国。水電解による水素製造に注目が集まっている。材料や膜等のコスト高が理由で難しさもあるが、この水電解技術に実は日本の技術が生かされている。着実に実地検証を繰り返し少しずつ進める日本、政府主導で急成長企業を育て、各地で検証を繰り返し一気に中国全土で産業チェーンを構築する中国。そんな中でも、日系の技術が確実に生かされている。熾烈な水素・新エネルギー産業にも日中間協力の隙間は、十分にある。



\*公開データ中国氢能联盟より調査部まとめ

## 【イベントセミナー】

1：(※1)【出展募集中】FBC 上海 in NEPCON 7月19日-21日 会場：上海世博展覽館

※1（公財）大阪産業局上海代表処は FBC ものづくり商談会の共催団体になっています。関西広域連合域内の企業は大阪産業局上海代表処を通じて申込みいただくと、特別出展割引が適用されます。

~~~~~  
最近、中国系外資系を問わず新店舗が続々オープンしている。施工工事のおじさんが足りないのではと思うほどの勢い。コーヒー店、コンビニ、レモン茶店…。そしてパン店。日本は小麦粉高でパンが値上がりしているのに…。ある日、弊社に突然差し入れが。聞けば、何と1本90元もする超高級日系食パン。限定品でしかも予約制。転売屋も出ており、120元～300円で転売されているから驚く。おやつに高級食パン…ジャムも無いまま、むしゃむしゃ頬張ると、確かに素材がいいのか香りも良く、ふわふわで美味しい。巷のスーパー量販袋食パン（5～6切れ）が10元程度。10倍の価格差と、変化する庶民の価値観、そして去年の今頃は封鎖中にはパンが恋しかったなあ…と思いを巡らす。では、また次月のレポートで。



大阪産業局上海代表処 中国（上海）ビジネスサポート  
ファクトリーネットワークチャイナ（工場網信息科技（上海）有限公司）

上海市長寧区延安西路2201号 上海国際貿易中心2階268室